SHONAN 湘南しんきん

2025年3月期ミニレポート
2024年度決算（速報）

（注）このミニレポートは、当金庫が自主的に開示するものです。計数は、単位未満を切り捨てるなどして表示していますので、合計が一致しない場合があります。

いつも湘南しんきんをご利用いただきありがとうございます。私たちは、いつも「街に、皆さまに、いい風」をおくり続けたいとの想いを込めて日々業務に励んでおります。元気でさわやかな湘南しんきんをもっと知っていただくため、２０２４年度（２０２４年４月１日～２０２５年３月３１日）における事業概況についてご報告いたします。

皆さまに選ばれる金融機関を目指し、正確で分かりやすい情報開示を行ってまいります。皆さまと共に歩む湘南しんきんにご理解とご支援を賜れば幸いに存じます。

湘南しんきんの概要（２０２５年３月31日現在）

名称	湘南信用金庫	預金積金残高	１兆3,２６８億円
本店所在地	神奈川県横須賀市大滝町２丁目２番地	貸出金残高	7,７３９億円
理事長	鷲尾　精一（わしお　せいいち）	役職員数	６９３人
設立年月日	大正１３（１９２４）年３月１０日	店舗数	４７店舗
出資金	２５０億円		（本支店４６店舗 出張所１店舗 ）
会員数	５２,８３０先	店舗外ＡＴＭ	２８か所

２０２４年度決算の概況

湘南しんきんの２０２４年度（２０２４年４月～２０２５年３月）における決算概況についてご報告します。なお、本ミニレポートは、当金庫の経営内容をいち早くお知らせするために掲載情報を絞り込んでいます。より詳しい計数を掲載した「ディスクロージャー誌」は７月中に公表しますので、是非ご覧ください。

２０２４年度は、日本銀行が長年続けてきた大規模な金融緩和政策の修正に動き出し、金融正常化に向けた動きが本格化しました。物価と賃金の上昇が生まれるなど、経済全体では前向きな傾向が見られました。

金融市場では、日経平均株価が２０２４年７月に史上最高値である４２,２２４円を記録しました。背景には、企業業績の回復や新NISA制度等により貯蓄から投資への流れが加速されたことなどが上げられます。しかし、２０２５年に入り米国の関税引上げや中国経済の減速懸念により先行きの不透明感が漂ったことから、３月末は３５,６１７円で着地しました。

主要計数についてご説明します。預金積金は、個人および法人預金ともに増加し、前期末比２３７億円増加の１兆3,２６８億円となりました。貸出金は、保証協会付等の事業性融資や個人向けフリーローン等に注力し同８３億円増加の7,７３９億円となり、いずれも過去最高残高を更新しました。

収益は、貸出金利息が短期プライムレート改定等による貸出金利回りの上昇や貸出金残高の伸長により前期比６億２６百万円増加の１３５億４百万円となりました。余裕資金運用利息は、資金の効率的かつ安全な運用を行い、同５億８１百万円増加の２３億５１百万円となりました。以上の結果、業務収益は同１１億８９百万円増加の１７８億３４百万円となりました。

費用は、預金利息が店頭表示金利の引上げやキャンペーン定期の販売に伴い、前期比７億９４百万円増加の１０億９２百万円となりました。国債等債券売却損は、市場金利上昇による評価損拡大への予防と保有債券のメンテナンスを目的として債券を売却した結果、同１億６５百万円増加の１０億５１百万円となりました。経費は、時間外労働の減少や店舗内店舗実施による土地建物賃借料の減少等も加わり、税金を含めた経費全体では、同１億７０百万円減少の９８億９２百万円となりました。以上の結果、業務費用は同４億４７百万円増加の１３４億２３百万円となりました。

これにより、業務純益は前期比７億４２百万円増加の４４億１１百万円、当期純利益は同６億３６百万円増加の３２億６８百万円となりました。

湘南しんきんの便利な各種ローン

湘南しんきんでは、お使いみちが自由な「フリーローン そよ風」をはじめ、窓口にご来店をいただかなくても、お申し込みから審査、契約締結までのお手続きをＷＥＢサイト上で完結できる商品、「フリーローン モア」やカードローン「きゃっする５００」等の品揃えもあり、大変ご好評をいただいております。

「フリーローン そよ風」

「フリーローン モア」

カードローン「きゃっする500」

本店ローンセンター　0120-413-357　　上大岡ローンセンター　0120-470-417

（１）預金・貸出金の状況

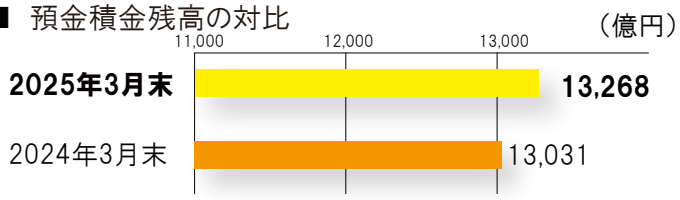
２０２５年３月末の預金積金残高は、個人預金、法人預金ともに増加し、前期末比２３７億円増加の１兆３，２６８億円となりました。貸出金残高は、事業性融資や個人向けのフリーローンへの取り組み等により、同８３億円増加の７，７３９億円となり、預金、貸出金ともに過去最高残高を更新しました。

＜預金積金･貸出金残高＞

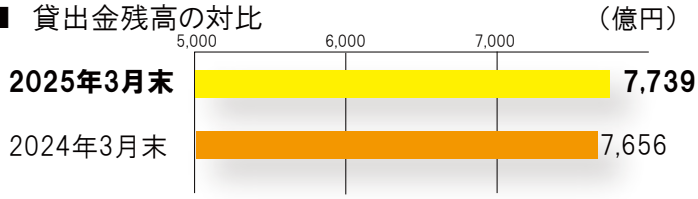
	2025年3月末	2024年3月末	増減
預金積金残高	13,268 億円	13,031 億円	237 億円
貸出金残高	7,739 億円	7,656 億円	83 億円

（注）増減欄は、表上の数値による計算結果を表示しています。

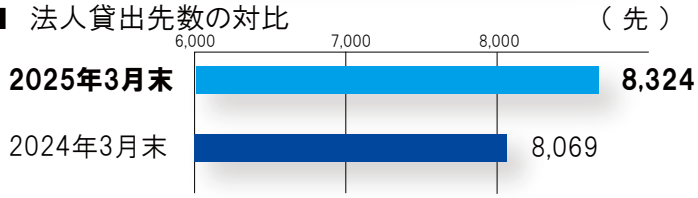
■ 預金積金残高の対比



■ 貸出金残高の対比



■ 法人貸出先数の対比

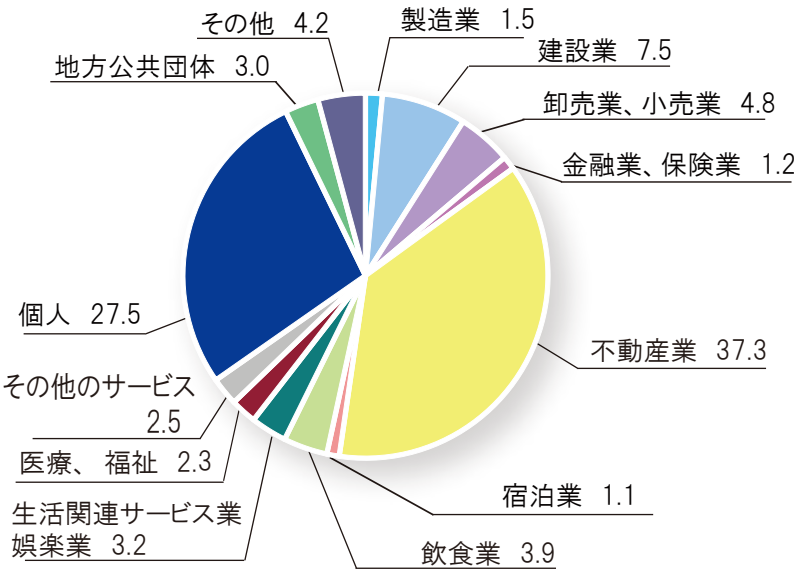


＜貸出金業種別内訳＞

	2025年3月末	
	貸出金残高	構成比
製造業	121 億円	1.5 %
農業、林業	1 億円	0.0 %
漁業	1 億円	0.0 %
建設業	586 億円	7.5 %
電気、ガス、熱供給、水道業	26 億円	0.3 %
情報通信業	23 億円	0.2 %
運輸業、郵便業	84 億円	1.0 %
卸売業、小売業	374 億円	4.8 %
金融業、保険業	95 億円	1.2 %
不動産業	2,888 億円	37.3 %
物品賃貸業	8 億円	0.1 %
学術研究、専門･技術サービス業	82 億円	1.0 %
宿泊業	91 億円	1.1 %
飲食業	304 億円	3.9 %
生活関連サービス業、娯楽業	254 億円	3.2 %
教育、学習支援業	51 億円	0.6 %
医療、福祉	178 億円	2.3 %
その他のサービス	195 億円	2.5 %
小計	5,369 億円	69.3 %
個人	2,135 億円	27.5 %
地方公共団体	234 億円	3.0 %
合計	7,739 億円	100.0 %

（注）構成比は、小数点第2位以下を切り捨てて表示しています。

■ 貸出金業種別内訳



（２）損益の状況

２０２４年度の損益の状況について、業務粗利益は前期比３億円増加の１４２億円となりました。

本業の収益力を示す実質業務純益は同５億円増加の４３億円、臨時収益・臨時費用（不良債権の引当など）を加減算した経常利益は同６億円増加の３５億円となりました。特別利益・特別損失を加減算し、税金などを差引いた当期純利益は同６億円増加の３２億円となりました。

		2024年度	2023年度	増減
業務粗利益	(A)	142 億円	139 億円	3 億円
うち国債等債券関係損益	(B)	△10 億円	△10 億円	0 億円
経費	(C)	98 億円	100 億円	△2 億円
実質業務純益（一般貸倒引当金繰入前業務純益）	(D)=(A)-(C)	43 億円	38 億円	5 億円
コア業務純益	(E)=(D)-(B)	54 億円	49 億円	5 億円
コア業務純益（投資信託解約損益を除く）		54 億円	49 億円	5 億円
一般貸倒引当金繰入額	(F)	0 億円	1 億円	△1 億円
業務純益	(G)=(D)-(F)	44 億円	36 億円	8 億円
経常利益		35 億円	29 億円	6 億円
当期純利益		32 億円	26 億円	6 億円

（注）増減欄は、表上の数値による計算結果を表示しています。

（３）自己資本の状況

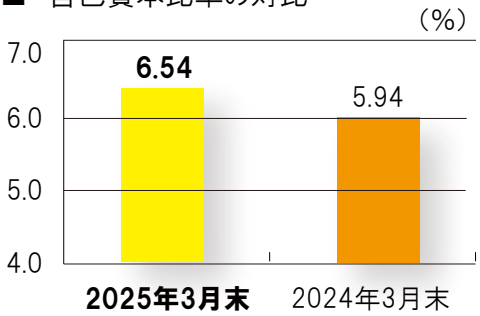
２０２５年３月末の自己資本比率は、前期末比０．６０ポイント上昇し６．５４％となりました。これは国内基準において４％を上回る、「経営体質が健全で問題のない金融機関」という区分に入ります。

＜自己資本比率の内訳＞

		2025年3月末	2024年3月末	増減
自己資本の額	(A)	391 億円	363 億円	28 億円
リスク･アセット等	(B)	5,985 億円	6,116 億円	△131 億円
自己資本比率	(A)/(B)	6.54 %	5.94 %	0.60 pt

(注)1.自己資本比率は、円単位による計算結果を表示しています。
2.増減欄は、表上の数値による計算結果を表示しています。

■ 自己資本比率の対比



用語のご説明

● 自己資本比率は、地域のお客さまからの出資金および過年度の利益を元とした利益剰余金等により構成される自己資本の額のリスクアセット等（リスクのある貸出金や有価証券等の資産をリスクの大きさに応じて再評価した資産金額）に対する割合のことで、経営の健全性を示す重要な指標であり、国内基準は４％以上とされています。

（４）不良債権の状況

２０２５年３月末の不良債権額は、前期末比１１億円減少の４１１億円となりました。
これにより、不良債権比率は同０．２０ポイント低下し５．３０％となりました。

＜信用金庫法開示債権および金融再生法開示債権の保全状況＞

		2025年3月末	2024年3月末	増減
正常債権	(A)	7,342 億円	7,251 億円	91 億円
不良債権	(B)	411 億円	422 億円	△11 億円
破産更正債権およびこれらに準ずる債権		104 億円	100 億円	4 億円
危険債権		304 億円	318 億円	△14 億円
要管理債権		2 億円	2 億円	0 億円
三月以上延滞債権		0 億円	0 億円	0 億円
貸出条件緩和債権		1 億円	2 億円	△1 億円
合計	(C)=(A)+(B)	7,753 億円	7,673 億円	80 億円
不良債権比率	(B)/(C)	5.30 %	5.50 %	△0.20 pt
保全額	(D)	294 億円	298 億円	△4 億円
保全率	(D)/(B)	71.55 %	70.71 %	0.84 pt

(注)1.不良債権比率および保全率は、円単位による計算結果を表示しています。
2.増減欄は、表上の数値による計算結果を表示しています。

用語のご説明

●保全額･保全率とは、担保･保証等により回収が見込まれる部分と、貸倒引当金によってカバーされている部分の両者により、不良債権が保全されている金額･比率をいいます。

（５）有価証券の状況

２０２５年３月末の有価証券の評価損益は、日本銀行が金融正常化に向けて利上げを行ったことや今後の利上げにも前向きな姿勢を示したことなどから、債券価格の下落が継続し含み損となりました。

	2025年3月末			
	貸借対照表計上額	帳簿価額 (A)	時価 (B)	差額 (B)-(A)
保有有価証券	2,407 億円	2,472 億円	2,322 億円	△150 億円
債券 （国債･地方債･社債）	2,187 億円	2,253 億円	2,107 億円	△146 億円
株式	2 億円	1 億円	2 億円	1 億円
その他 （外国証券･投資信託等）	217 億円	217 億円	212 億円	△5 億円
合計	2,407 億円			

(注)1. 差額欄は、表上の数値による計算結果を表示しています。
2. 時価は、期末日における市場価格等に基づいています。
3. 債券の評価損については、満期に元本が償還されることで解消されます。

２０２５年度の事業計画

- 当金庫は、基本姿勢「ＢＥＳＴを尽くす」を掲げ、物事の本質を見極め、均衡（Ｂａｌａｎｃｅ）を図りながら、力強さ（Ｅｎｅｒｇｙ）とスピード感（Ｓｐｅｅｄ）を持ち、機を見て（Ｔｉｍｉｎｇ）果敢に行動してまいります。そして、個人のお客さまへの新ＮＩＳＡ等を活用した資産形成のお手伝いや資源価格高騰や人手不足によって多大な影響を受けている事業者に対しての本業支援など、皆さまが抱えている課題の解決と地域の活性化に向けた取り組みを２０２５年度も役職員一丸となって実践してまいります。
- 今年度の数値目標として、事業性融資およびフリーローンをはじめとする消費者ローンの積極的な推進により「コア業務純益４４億円」、「当期純利益２６億円」の達成を目指してまいります。

■　2025年度の事業計画

コア業務純益	44億円
当期純利益	26億円

（注）上記数値は、将来の業績を保証するものではありません。将来の業績は経営環境の変化等により異なる場合があることにご留意ください。

トピックス

事業報告会・総代懇親会を開催しました

総代間のコミュニケーションを図るとともに総代からの意見・要望を当金庫の経営に反映させるべく、初めての試みとして「湘南しんきん『事業報告会』並びに『総代懇親会』」を開催し、74 人の総代にご参加いただきました。

第１部「湘南しんきん事業報告会」では、2024 年度上半期決算概要と当金庫が実施した取り組みを鷲尾理事長が報告、第２部「総代懇親会」では総代同士や役職員との交流が促進されました。出席者から、当金庫に対する激励や貴重なご意見を多数いただきました。

当金庫は、お客さまや地域に必要とされる信用金庫を目指し、これからも皆さまの声に耳を傾け様々な取り組みを実施してまいります。

茅ヶ崎フェスティバルを実施しました

大人も子どもも楽しめるイベントをテーマに、茅ヶ崎市の後援のもと茅ヶ崎市役所前庭広場で「茅ヶ崎フェスティバル」を実施しました。

職員による資産相談会や子ども向けには射的や輪投げといった「縁日」を実施、さらに地域の小学生が取り組んでいる環境保護活動の紹介ブースなども設置しました。当日は、約 1,500 人の方々に来場をいただきました。「子どもが楽しんでいる様子を見ることができ、うれしくなった」「平日は働いているので、休日に資産に関する相談ができてよかった」などの声が来場者から寄せられました。

当金庫は、地域に寄り添うパートナーとしてこれからも積極的に地域貢献活動を行ってまいります。

湘南信用金庫　総合企画部
〒238-8616　神奈川県横須賀市大滝町２丁目２番地
TEL046-825-3385
https://www.shinkin.co.jp/shonan/　　e-mail keiki@shonan-shinkin.jp

２０２５年６月発行

マネー・ローンダリング対策にご協力を
当金庫は、マネロン対策を経営の重要課題と位置づけ、法務コンプライアンス部を統括部署、その担当役員を責任者として定めるとともに当金庫が直面するリスクに応じた対策を実施しています。